

日本ユネスコ国内委員会
第515運営小委員会資料

「ユネスコやユネスコ活動の 普及における メディアコミュニケーションの 向上策について」

2023年7月14日
治部れんげ

論点

- 自己紹介及び私とメディアの関連
- ユネスコの価値とは？
- 日本語メディアが伝える「ユネスコ」
- 記者の視点から① 日本語と英語サイトの印象
- 記者の視点から② 調査レポート活用の可能性
- 記者の視点から③ 上記を踏まえた提案
- プレスツアールの可能性

論点

- 自己紹介及び私とメディアの関連
- ユネスコの価値とは？
- 日本語メディアが伝える「ユネスコ」
- 記者の視点から① 日英サイト
- 記者の視点から② 調査レポート
- 記者の視点から③ ほしいもの
- プレスツアーの可能性

前提

現状

提案・アイデア

自己紹介

- 2021年4月～: 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
理工系学生向け文系教養科目を教える部門
- 2014年4月～: フリージャーナリスト
ジェンダー、多様性に関する執筆・講演・行政の委員等
- 1997年4月～: 日経BP社
経済誌記者

- 2006～07年: フルブライト奨学金で米国留学
- 小中学生の保護者

現在の公職など

- 内閣府男女共同参画計画実行・監視専門調査会委員
- 国際女性会議WAW!国内アドバイザー(外務省)
- 東京都男女平等参画審議会委員
- 豊島区男女共同参画推進会議会長
- 日本メディア学会ジェンダー研究部会長
- 日本テレビ番組審議会委員
- 毎日新聞社「開かれた新聞委員会」委員
- **日本ユネスコ国内委員会委員**
- 文部科学省科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会委員
- SRHR(性と生殖の健康と権利)に関する国際NGO公益財団法人ジョイセフ理事
- 一般社団法人日本民間公益活動連携機構専門家委員
- 上場企業の女性役員3割を目指す30%ClubJapanアドバイザーリーボード
- ジェンダー主流化を求める駐日欧州代表部のプロジェクトリーダー

現在の公職など(メディア関連のみ緑色)

- 内閣府男女共同参画計画実行・監視専門調査会委員
- 国際女性会議WAW!国内アドバイザー(外務省)
- 東京都男女平等参画審議会委員
- 豊島区男女共同参画推進会議会長
- 日本メディア学会ジェンダー研究部会長
- 日本テレビ番組審議会委員
- 毎日新聞社「開かれた新聞委員会」委員
- 日本ユネスコ国内委員会委員
- 文部科学省科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会委員
- SRHR(性と生殖の健康と権利)に関する国際NGO公益財団法人ジョイセフ理事
- 一般社団法人日本民間公益活動連携機構専門家委員
- 上場企業の女性役員3割を目指す30%ClubJapanアドバイザーーボード
- ジェンダー主流化を求める駐日欧州代表部のプロジェクトリーダー

過去に携わった公共広報

- JICA広報室アドバイザー(2007~08年)
- 米テキサス&マイアミ州フルブライトースピーキングツアー(2017年)
⇒内閣官房主催
- G20に女性政策を助言する組織W20の日本委員会(2018~19年)
⇒2019年G20大阪サミットを前にメディアエンゲージメント等
- 仏ストラスブール、講演(2020年)
⇒官邸国際広報室
- 中央省庁、県、市の広報研修多数(2018年以降)

ユネスコの価値とは？

- Google検索>「ユネスコ」>日本ユネスコ協会連盟
>飛鳥・檜原ユネスコ協会>「ユネスコとは？」
- 2段落目

「ユネスコ憲章前文の最初の部分には「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあります。「築かなければならない」心の中の平和とは、いったい何であるかを、教育・科学・文化・マスコミュニケーションの分野で探し求めるのが、ユネスコの活動の目的です。」

素晴らしい理念

- <https://www.unesco.or.jp/asuka-kashihara/unesco.html>
- 「ユネスコ憲章前文の最初の部分には「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とあります。「築かなければならない」心の中の平和とは、いったい何であるかを、教育・科学・文化・マスコミュニケーションの分野で探し求めるのが、ユネスコの活動の目的です。」
⇒ 普遍的かつ人類が目指すべき価値を伝える素晴らしい文章。
この素晴らしい価値がメディアを通じて
日本語母語話者に十分に伝わっているか？【本日の要点】

日本語メディアが伝える「ユネスコ」

- 多くの読者がインターネットメディアを通じてニュースに触れている
- Yahoo!ニュース>「ユネスコ」>845件(7月5日 11時30分現在)

<https://news.yahoo.co.jp/>

• 検索結果の傾向

①圧倒的多数が「世界遺産」関連

②米ユネスコ復帰 20件

ユネスコスクール、政府間海洋学委員会・次期議長 道田豊氏、
文楽継承者問題、ジオパーク等

⇒関係者が発信したい内容・分量と合っているか？

記者の視点から①

- 日本語で「ユネスコ」をGoogle検索すると結果のトップに表示
<https://www.unesco.or.jp/> (公益社団法人日本ユネスコ協会連盟)
＞「私たちについて」
⇒教育を通じた平和を目指す団体という印象を持つ
ESD(持続可能な教育)はこの枠組みで認知できる
- 英語で“Unesco”をGoogle検索すると結果のトップに表示
<https://www.unesco.org/ja> (ユネスコ本部)
＞トップがbiodiversity次がアメリカの復帰ニュース
⇒文化外交の色合いが強い
日本語で検索した時と受ける印象が異なる
どのように考えるか

記者の視点から② 調査レポートの活用

- 膨大なPublicationが英語サイトにある
<https://www.unesco.org/en/publications>
- 残念ながら日本メディアであまり取り上げられていない印象
- 例えば、教育やAIに関する調査は日本国内でも関心が高い
私教育関連(2021年2月)
<https://www.unesco.org/gem-report/en/non-state-actors>
AIとジェンダーバイアス関連(2020年)
<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374174>
⇒ executive summary だけでも邦訳してウェブページに載せるべき

記者の視点から③

調査、統計、外交が分かるページがあると良いのでは

- 国際機関の日本事務所で参考になるもの。
- OECD東京センター(<https://www.oecd.org/tokyo/>)
⇒統計、調査出版物の邦訳リンクなど

UN Women 日本事務所(<https://japan.unwomen.org/ja>)
⇒基本情報を日本語で発信

ILO駐日事務所(<https://www.ilo.org/tokyo/lang--ja/index.htm>)
⇒ビジネスと人権に関心が集まる中、タイムリーな情報を発信

プレスツアーも有効

- 様々な国の記者を日本に招待し世界遺産・ジオパーク・ESDを見る
⇒記者の国際交流、多様な視点、事後の記事&番組化を期待
(2019年、Swedish Institute主催のプレスツアーに参加した経験より)
- 日本の記者を複数、ユネスコ本部等に招き、外交や平和構築視点での意義を伝える
⇒広い視野からの取材、発信を望める
(2015年、ケニアでUHC関連のプレスツアーに参加した経験から)
- ポイントは伝統メディアのみならず、高い専門性を持つフリーランス記者も招待リストに入れること

ありがとうございました